

2024年11月17日

「わたしにしてくれたこと」

マタイによる福音書 25:31-40

早川 真牧師

イエス様は今から大体 2000 年前に地上に来られましたが、その時は小さな赤ちゃんとして来られました。今度は王様として来られると書いてあります。光に輝いて、天使たちを連れて来られるとあります。そして王様は羊と山羊を分けるように、全ての国の人を分けると言われています。

羊と山羊は似ています。山羊は運動神経が良いので、崖の上をピョンピョンと飛んでいきます。でも羊は運動神経が悪く、目が悪いので道に迷ってしまいます。だから羊飼いが必要です。羊は羊飼いについて行きます。同じようにイエス様を信じる人はイエス様について行きます。イエス様のお弟子さんたちも、イエス様の後について行きました。

イエス様は私たちを助けるために天から下ってくださり、最後は十字架にかかってくださいました。これはイエス様が一番大事なご自分の命を私たちにプレゼントしてくださったということです。十字架は神様が私たちをこれ以上ないほど大切に思ってくださいたいことのできるしです。そのイエス様に、今私たちは何かをすることはできません。天におられるからです。でも困っている人や助けを必要としている人を助けるなら、それはイエス様にしたのと同じことだと今日の聖書の言葉は私たちに教えてくれています。

山羊は自分の好きな方へどんどん登って行きますが、羊は羊飼いに導かれるままに歩いて行きます。私たちは、羊飼いであるイエス様に導かれ聖霊の風に吹かれて、悲しんでいる人や辛い思いをしている人と一緒に、この世界が作られる前から用意されている神様の国へ歩いて行きたいと思います。